

名経大通信

第3号

2002年6月20日

名古屋経済大学

<http://www.nagoya-ku.ac.jp/>

CONTENTS

p1.2 Top News
名経大など44大学で授業開放

p3.4 Lecture
卒業式と入学式で学長告辞

p5 Local
大口町と交流協定
子ども大学に協力

p6 Global
教員の海外研究報告
中国には学生たちと

p7 Information
大学基準協会に加盟
獨協大学から見学訪問

p8 Information
入試日程の案内
オープンキャンパス 7・8月に

p9 Club Seminar
「界法会」近況
短大の学外セミナー

p10 Interview
共学になった短期大学部、男子の心境

p11 Books&Author
新刊紹介/催事報告
ラッピングバス登場



他大学でも単位がとれる

愛知の44大学で授業開放「単位互換制度」スタート

愛知県の四十四大学（四年制）がそれぞれ幾つかの授業を開放して他大学の学生を受け入れ、学級の単位もとれる仕組みにするため「単位互換制度」の協定を結び、初年度の平成十四年度には名古屋経済大学を含む二十六大学でスタートしました。

この協定は、国公立・私立の枠を超えた教育交流・連携を進めるため、キャンパスの垣根を取り払う画期的な事業です。さまざまな大学の教員によるユニークな学習の場が、すべての学生たちに提供されることになり、この制度の積極的な利用が期待されています。

同様の複数大学の単位互換制度はすでに京都、横浜などの各地域で広がっています。ことに愛知の場合は参加大学数で全国最大規模となりました。平成十四年度で授業を開放したのは二十六大学、計百二十八科目。名古屋経済大学では経済学部の「消費者問題論」と法学部の「国際取引法」が

参加しています。来年度は四十四の全大学が足並みをそろえる予定です。

他大学の開講科目を履修したい学生は教務部へ出願票を出して下さい。受け入れ校が志望動機や受講希望者数を見て人数調整し、単位互換履修生（特別聴講学生）としての受け入れの可否を決定します。履修の要点は次の通りです。

（1）参加大学の開講科目一覧表を見たと自分で決めるが、大学の教育課程と同一科目を履修することはできない。

（2）この制度を利用して履修できる単位数は、2年次から4年次の間に三十単位を上限とする。

（3）卒業要件に算入するのは経済学部消費経済学科及び経営学科
自由選択科目二十二単位の枠内で八単位まで 法学部専門科目選択四十六単位の枠内で八単位まで。

（4）履修大学と本学の試験が重複するときは履修大学を優先し、本学の方は追試験となる。

本学からは五人の履修生

「都市文化論」「福祉環境論」「女性学・男性学」など探求心に燃え、様々な志望

名古屋経済大学を含む単位互換制度の第一回履修生（平成十四年度の前期）として、本学では三年生と四年生の計五人が決まりました。急なスタートのためPR不足の感もありましたが、その割にはまずまずの滑り出しです。

希望者は徐々に増えてくると思われませんが、今後の参考のために第一回履修生の受講科目と志望の動機を紹介します。

法学部四年「愛知淑徳大 女性学・男性学」を履修する動機

「私はゼミで日本国憲法を学んでいるが、社会人になったら関係してくるであろうセクシュアル・ハラスメントについて問題となつた。男性と女性ではセクハラに対して考え方が違っている。男性に

とって何げない行動であっても女性に不快と感じればセクハラになつてしまふ。性同一性障害に悩まされるテレビドラマもあったが、性差の問題を探求したい」

法学部三年「中部大 経営組織論」を履修する動機

「自分の父が自営業で、会社の経営形態に興味を持ち、実際にどのようにして「経営」が成り立つのか、そして現在の不景気状況をどのように説明できるのか、また事例があるのか、知りたい。実際に学んだことを活用できれば父にも多少なりとアドバイスできる」と思っている」

経済学部四年「日本福祉大 福祉環境論」を履修する動機

「私は事故で下半身不随になつてしまった医師が車椅子を利用し、事故後も医師として仕事を続け、患者にも尊敬されているという話を聞き、バリアフリーというものに興味を持ち始めた。卒論テーマの記述内容をより分かりやすく、



今年度後期の単位互換履修生の募集案内はあらためて学内に掲示し、教務部で受け付けます。

「自動車のことをもっと知りた
いという気持ちの日々高まり、就
職は自動車関係またはモーター
スポーツ関係に思っている。しか
し自動車についての知識は全くな
い。もっと身近に自動車を感じる
ためにも、なぜ走る・止まる・曲
がるのか、知りたい」

経済学部三年「名城大 都市
文化論 を履修する動機

「都市文化に興味があった。こ
れからの社会状況によって、どん
な新しい文化ができるのか、昔な
がらの伝統を持つ文化が残ってい
くのか。自分の知らない都市特有
の文化について深く知りたいと思
うし、視野が広がり、新たな発想
を与えられ、豊かな人間になれる
のではないか」

より意味のあるものにした」

経済学部四年「名城大 交通
科学概論 を履修する動機

「単位互換」平成14年度参加大学の開講科目一覧

大学名	科目	担当教員	大学名	科目	担当教員	大学名	科目	担当教員
名古屋大学	環境と法	玉樹 智文	金城学院大学	ディベート(1)	二杉孝司		デザインと文化3	平田哲生・津田佳紀
名古屋工業大学	応用化学概論	川井正雄・池田章一郎		ディベート(2)	二杉孝司		造形技法3-1	岩井義尚
	分析化学概論	小島 功		英米文化論(映画で学ぶ英米の歴史と文化)	鈴木紀之	名古屋経済大学	消費者問題論	小木紀之
	化学工学概論	平岡節郎		社会学C(笑いとユーモアの社会学)	森下伸也		国際取引法	岩崎一生
	有機材料工学概論	結城康夫、他	中京大学	日本史(古代史の謎を解く)	神野清一	名古屋産業大学	環境アセスメント	諏訪亜紀
	無機材料工学概論	土井 彰、他		日本史(古代史の謎を解く)	神野清一		環境アセスメント	諏訪亜紀
	表面科学概論	岩津文夫		社会学	ましこひでのり		大気環境論	岡村 聖
	制御工学	米谷昭彦・橋本芳宏		社会学	ましこひでのり		大気環境論	岡村 聖
	交通計画学	藤田素弘		生物学(遺伝子+環境=進化)	桑村哲生		都市産業論	大塚俊幸
	都市環境学	堀越哲美		生物学(遺伝子+環境=進化)	桑村哲生		都市産業論	大塚俊幸
	科学と哲学	松浦俊輔	中部大学	経営組織論(水曜日)	辻村宏和	名古屋女子大学	生活と環境	八木明彦
	科学と哲学(工学倫理)	坂下浩司		経営組織論(金曜日)	辻村宏和		食品学総論	森下達雄
	科学英語	松浦俊輔		経営組織論	辻村宏和		日本語学入門	鈴木 互
愛知県立大学	英米文学概説	櫻本 洋		映像と文化史A	内藤 誠	名古屋造形芸術大学	日本美術史A(月曜1限)	池田洋子
	文化人類学(昼開講)	稲村哲也		映像と文化史B	内藤 誠		日本美術史A(月曜2限)	池田洋子
	文化人類学(夜開講)	稲村哲也		生物統計学	宮島佐江		日本美術史B(水曜3限)	池田洋子
	教育史	近藤健一郎		生態学概論	谷山鉄郎		日本美術史B(木曜4限)	池田洋子
	研究各論(イギリスの歴史A)	吉瀬征輔	東海学園大学	人間行動起源論	杉山幸丸		西洋美術史A	江本菜穂子
	フランス研究概論(文化)	小柳公代		経営史	山崎廣明		西洋美術史B	江本菜穂子
	特殊講義(チベット語研究)	高橋慶治		共生人間論	村瀬忠雄		近代デザイン史A	竹本紀明
	画像処理論	村上和人	東邦学園大学	中部圏経済論	安保邦彦		近代デザイン史B	竹本紀明
	研究概説B(文学文化)	榎原克夫		インターネット社会論	岡部一明		芸術心理学A	境 敦史
愛知大学	国際開発論	佐藤元彦	豊橋創造大学	流通・マーケティング入門(春)	鈴木安昭		芸術心理学B	境 敦史
	国際ビジネス論A	名和聖高		流通・マーケティング入門(秋)	鈴木安昭	日本福祉大学	福祉環境論	児玉善郎
	日中間関係論	古森利貞		中小企業論	森田和正		開発とNGO	斎藤千宏
	現代社会とメディア	河辺一郎	名古屋外国語大学	アジア事情2	林 茂雄		福祉情報機器論	水野昇治
愛知学院大学	宗教学(人間と宗教)	吉田道興		英文日本事情 A	高土京子	人間環境大学	資源循環型経済社会論講義	吉野敏行
	宗教学(仏教・禅と人間)	吉田道興		英文日本事情 B	ダグ・ス・ウ・ム・ソ		日本近世教育史講義	川口雅昭
	総合科目(禅と人間)	佐藤悦成		英文日本事情 C	竹内昭夫		茶道文化論講義	神谷昇司
	総合科目(禅と心理)	杉下守男	名古屋学院大学	国際マーケティング論	有賀敬之	名城大学	フェミニズムと法	松田恵美子
	仏教と芸術	石黒 淳		国際マーケティング政策	有賀敬之		起業講座	村松潤一
愛知学泉大学	経営・情報特講:自動車生産(7/2)	山田 徹		地域学入門	木村光伸		交通科学概論	池村澄男
	経営・情報特講:自動車販売(7/2)	山田 徹		環境の科学(春学期B:梅本)	梅本和泰		交通科学概論	杉村忠良
	コミュニティ活動論	山崎丈夫		環境の科学(春学期B:木村)	木村光伸		建設技術史	泉 満明
愛知産業大学	環境工学	藤木良明		環境の科学(秋学期B:梅本)	梅本和泰		環境気象学	村松久史
	CG・マルチメディア概論	佐々木尚幸		環境の科学(秋学期B:木村)	木村光伸		造園学	丸山 宏
	企業と社会貢献	丹羽弘行		現代技術論	十名直喜		薬学入門	鈴木良雄
愛知淑徳大学	女性学・男性学	小倉千加子		エネルギー-経済学	木船久雄		医療倫理学	二改俊章
	ジェンダーと社会1	國信潤子ほか		比較宗教学1	梶原 寿		臨床薬学	松葉和久
	ジェンダーと社会2	中島美幸・山下留恵子		比較宗教学2	梶原 寿		情報管理論	酒井順哉
愛知文教大学	国際軍事学	伊藤重夫	名古屋芸術大学	指揮法(前期)	古谷誠一		情報処理論	名倉正計
	古文書学	増田 孝		指揮法(後期)	古谷誠一		都市文化論	松本久司
愛知みずほ大学	メディアと人間	浅野鴻一郎		音楽療法(歴史と倫理)	中河 豊		合計128科目	

知性、勇気、行動力、広げよう夢と未来

平成十三年度卒業式、平成十四年度入学式 華やかに

末岡学長の卒業式告辞(要旨)

皆さんは本学で培われた豊かな人間性と創意に溢れ、人物教育を目指す名古屋経済大学の学風を身につけ、新たな出発点に立つておられますが、卒業の喜びとともに期待と不安が入り交じり、複雑な心境ではなからうかと推察いたします。社会は変革の真つ最中で、不況回復の兆しさえなく、失業率は一〇%近くまで拡大することが懸念されます。

二十一世紀は内外ともに激動の幕開けとなり、明るい希望を託せるかどうかの分岐点にあり、皆さんは好むと好まざるにかかわらず、最も中核的な担い手として競争社会の中で日々過ごしていかねばならない宿命にあります。

それだけに目先の小さな問題だけにとらわれることなく、広く人類の将来にかかわる諸問題について世界的視野で考えて行動できるような鋭い知性と強靭な勇気と活力溢れる行動力を備えていなければなりません。

ばなりません。

今、修士及び学士を授与されましたが、単なる卒業の証明書ではありません。皆さんが広く深い教養と知識、問題の発見能力、分析能力、創造力を持っていることを証明するものであり、その知識を現実はどう生かすかは今後の生き方にかかっています。ただし知識だけでなく、知識を使う知恵も必要であることを知ってもらいたい。

名古屋経済大学は消費経済、企業法学といった社会に密着し、常に時代と共に学び、実社会においてすぐ実践力となり得る知識と教養を身につけた人材を育成して参りました。各方面から高く評価され、すでに六千人を超える皆さんの先輩が有為な人材として、それぞれ第一線で華々しく活躍しておられます。どうか皆さんは名古屋経済大学の出身者としての誇りを持って社会で大いに活躍され、後輩たちに糧と勇気を与えてください。

第二十回卒業式

大学院は一期生百一人

名古屋経済大学の第二十回卒業式と大学院の第一期修了式が三月十九日、市邨記念体育館でありました。

大学五百十九人(経済学部消費経済学科百四十五人、同学部経営学科百五十八人、法学部企業法学科二百六人)と、大学院から初めて修了生百二人を送り出しました。

式典では、まず大学院の学位記(法学研究科修士課程)が末岡熙章学長から代表の中村光宏さんに渡され、次いで大学卒業証書と学位記が学長から各学科代表者に渡されました。引き続き次の卒業生たちに学長賞が贈られました。

学業が特に優秀
北嶋武史(消費経済学科)
粕谷昌代(消費経済学科)
有賀裕倫(企業法学科)
真木沙緒里(企業法学科)
学業に努力を重ね、中国語スピーチ競技会で特に優秀
岡正志(企業法学科)
課外活動で優れた業績
津梁エイサー部

短大の卒業式

四百六十七人が 巣立つ

市邨学園短期大学の名称では最後になる第三十六回卒業式が三月十八

日、市邨記念体育館でありました。

今回の卒業生は商経科百十四人、生活文化学科百四十二人、保育科百八十人、英語科三十一人の計四百六十七人でした。

卒業証書は伊藤貴美代さん(商経科)、水野亜由美さん(生活文化学科)、正岡美佳さん(保育科)、浅井真紀さん(英語科)が代表で受け取り、学長賞は舟戸麻理子さん(商経科)、林真実さん(生活文化学科)、横井美恵さん(保育科)と学生自治会執行委員会に贈られました。

末岡学長は告辞の中で、過去を追わず、今日を最も意義ある日として生きる人は人生において成功する人である、という市邨学園創立者・市邨芳樹の言葉をひき「皆さんの二十一世紀は生涯学習時代であり、新たな勉強が始まる気持ちで次のステップへ踏み出してください」と語りかけました。

入学式、二重の喜び

学部と短大部、初めて合同で

名古屋経済大学と名古屋経済大学短期大学の平成十四年度入学式が四月一日、本学の市邨記念体育館で



ありました。市邨学園短期大学が今年度から名古屋経済大学短期大学部と名称変更して初めての合同入学式でした。入学生は学部生と短大生を合わせて八百八十六人。満開となったキャンパスのサクラの下で、緊張と喜びは二重に広がりました。

入学生の内訳は、今年度の組織変更で生まれた経済学部現代経済学科に百三十四人、経営学部経営学科に二百七人、また法学部企業法学科に百三十三人、国際関係法学科に四十四人です。短期大学の入学生は商経科六十一人、生活文化学科七十四人、保育科百九十七人、現代コミュニケーション学科（新設）三十六人です。男女共学制に踏み切った短大部に十六人の男子学生を迎えました。

入学式では保護者席や来賓席も埋め尽くされ、同時に名称変更した名古屋経済大学市邨中学校・高等学校の吹奏楽部が祝賀演奏にかけつけてくれました。末岡熙章学長は教育を取り巻く社会的・国際的環境と新入生への期待について告辞「別項」を述べました。

続いて入学生代表、法学部企業法学科の永瀬貴之君が「緑豊かなキャンパスの名古屋経済大学に入学することになり、大変誇りと思えます。在学中には法律の知識を得るだけでなく、貪欲にいろいろ資格をとり、

今日の社会の変化に対応できる能力がつくよう自己研鑽に励みたいと思います。入学後は大学の学則をはじめ諸規定を固く守り、学生の本分を全うするよう努力します」と宣誓しました。

式の後、沖縄出身者を中心にした「津梁エイサー」部員たちが太鼓を打ち鳴らし、会場を練って踊り、歓迎気分を盛り上げていました。

大学院の第三回入学式 社会人入学は三十三人

名古屋経済大学大学院の第三回入学式が四月一日、本学の講堂であり、法学研究科の修士課程に六十三人、博士課程に七人、新設の会計学研究科には二十八人、計九十八人が入学しました。このうち社会人試験の合格者は三十三人です。

式辞の中で、酒巻俊雄研究科長（法学）は「学部と違って修士課程の二年はあつという間に過ぎます。指導教授についてテーマを決め、密着を」と勧め、山本繁研究科長（会計学）は「二〇〇〇年を境に会計ビッグバンといわれ、会計学改革が進んでいます。学ぶことを喜びとしてください」と語りかけました。

また、末岡熙章理事長は「存分な研究成果を上げるよう期待します」と祝辞を贈りました。

末岡学長の入学式告辞（要旨）

皆さんは今、自由度の高い大学生活をどう過ごそうかと模索中であると思います。どんな大学生活を設計するかはそれぞれ異なりましょうけれども、大学に進学した目的、目標をよく認識し、自らの学業の方向づけを明確にするのが大切です。

本学は新しい学問分野を開拓してきましたが、これからの時代を展望しながら教育目的をより一層明確にするために今年度から経済学、法学、経営学の充実した三学部体制をしきました。短期大学部においては現代コミュニケーション学科を新設し、同時に市邨学園短期大学から名古屋経済大学短期大学部と改称し、男子学生にも門戸を開きました。短期大学部は四年制

大学の二分の一でなく、二年間で完結すること、さらに積み上げることもできる独立した教育機関です。学ぶ楽しさが実感できるよう構成され、次のスケジュールへの選択肢を多彩にしています。

昔から世の中が不況で就職が困難になると学生はよく勉強するといわれます。時代の変化を読みと

って機敏に対応していかなければなりません。最近ほどの大学を卒業したかが問われるのではなく、大学で何を学んできたかが問われる時代であることを認識すれば、のんびりとももしいないで過ごすことはできない。

授業への出席は当然のことながら課外活動としてのスポーツ、文化的活動などで若さを謳歌し、意義のある二年間あるいは四年間を過ごすのも

本学の母体である市邨学園は明治四十年（一九〇七年）、市邨芳樹先生により創立されましたが、先生は当時すでに「世界はわが市場なり」と国際化を推察し、そこで活躍できる優れた人物の養成を目的とされました。また「一に人物、二に伎倆」を提唱し、現代の日本で最も必要なのは人であるとの信念のもとに人間教育を涵養されました。名古屋経済大学はこつした精神を継承しており、

高邁な建学の精神と創立以来の歴史と伝統にふれ、だれのためでもなく自分自身のために学ぶ姿勢を貫き、時には自分の専門分野以外にも関心を持ち、若いエネルギーをぶつけていただきたいと思います。

「まちづくりに大学の協力を」 大口町の申し入れで交流協定

愛知県丹羽郡大口町と名古屋経済大学の相互交流協定が四月二十四日結ばれました。本学としては昨年の犬山市との協定に次いで二つ目の近隣自治体との連携です。

地方分権時代のまちづくりを進めている大口町から「大学の専門性と能力が必要で」と協定申し入れを受けました。地域に開かれた大学をめざす本学は町の熱意に応えました。

当日、学長室での調印式で酒井鎮町長と末岡熙章学長が協定書に署名しました。交流内容は、町民に大学の図書館や体育館を開放する、社会人講座の共同開催、学生に保育士実習や行政職員研修の場を提供する、など七項目です。

これまでも大口町の祭りに学生らが参加したり、同町の審議会委員を教授らが務めたり、交わりを続けてきました。酒井町長は「先進的な取り組みをしている大学と共同でまちづくりをしたい。大学の情報、知識、協力を得て、地域を担う人材を育成したい」と抱負を語っています。



「子ども大学」に協力

公立小中学校での週五日制が完全実施されたことに伴い、犬山市では、休日となった土曜日を利用して「子ども大学」が開講されることになり、五月二十五日に「子ども大学」開講式が行われました。子ども大学は、犬山市内の小中学生を対象に普段

の授業とは異なった様々な分野の学習を体験させる試みです。

本学もこの「子ども大学」の企画に協力することとなり、情報教育学科と名づけられた技能プログラムを担当します。本学2号館の情報処理教室を提供し、本学の教員と学生TA（ティーチング・アシスタント）が八、十回の講義を受けもちます。受講者を募集したところ、大変好評で定員を上回る応募があり、NPO（いぬやまe コミュニティネットワーク）の協力を得て他会場でも同じ内容の講義を開催する運びとなりました。

情報教育学科では小学生対象と中学生対象のプログラムを用意しており、小学生にはインターネット検索と簡単なホームページ作成を、中学生にはいわゆるネチケツトに関する学習とホームページ作成を体験してもらう予定です。

なお講義は、小学生の部が六月二十九日（土）と七月二十九日から八月九日（七月三十日）、八月三、四日を除く）、中学生の部が六月二十九日（土）と七月二十九日から八月七日（七月三十日）、八月三、四日を除く）と、ほぼ夏期休暇中を利用しての開講となります。

**夏祭り
ボランティア募集**
介護老人保護施設（犬山市羽黒新田）が七月二十七日（土）の夏祭りボランティアを募集しています。夏祭りは午後四時五十分から七時三十分までの予定。ボランティア内容は会場設営、店番利用者の話し相手、後片づけなど。当日午後四時から打ち合わせがあります。本学学生部で申込を受け付けています。
連絡先 ☎〇五六八―六七一〇五二―

**扶桑町「たんぼぼ」で
ボランティア募集**
愛知県丹羽郡扶桑町に昨年オープンした知的障害者通所授産施設「たんぼぼ」で、学生ボランティアを募集しています。一緒に軽作業、障害の重い人の介助手伝い、リフトカーによる送迎の補助などです。
月に一、二回、数カ月一回でもよいそうです。
連絡先 ☎〇五八七―九一―三三―

愛知県丹羽郡扶桑町に昨年オープンした知的障害者通所授産施設「たんぼぼ」で、学生ボランティアを募集しています。一緒に軽作業、障害の重い人の介助手伝い、リフトカーによる送迎の補助などです。
月に一、二回、数カ月一回でもよいそうです。
連絡先 ☎〇五八七―九一―三三―

文化と自然、そして歴史 中国雲南報告



今年の三月九日から一週間、中国を訪問しました。雲南で少数民族の文化と大いに触れ、西安で四千年の歴史を感じるという欲張った企画。メンバー内訳は宮田（法学部）・日比野・高木（経済学部）・千田（短大）各先生、法学部四年小坂君、経済学部三年富田・石川・諸田さん、二年の安藤君。企画した私が予想もなかった、たいそう個性的な顔ぶれになりました。雲南では省都の昆明、ナシ族の故郷・麗江、ペー族の故郷・大理を訪問しました。異国情緒たっぷりなのに、どこか懐かしさを感じさせる、不思議な空間がどこまでも広がっていました。そして西安では、壮大な歴史の遺産を前に、かつての長安の都に思いをはせました。移動距離の大きいハードなスケジュールでしたが、全員無事元気に帰国。

雲南は私にとっても初めての訪問で、たくさんの貴重な経験をすることができました。メン

バーの普段とは違った一面を見ることができたのも大切な楽しい思い出となりました。
（法学部 谷川 毅）

イギリス留学事始め

在外研究のため二〇〇一年四月からケント大学のいるカンタベリーに一年間滞在しました。イギリス国教会の大本山、カンタベリー大聖堂がそびえる人口約十万人の小都市です。喧噪の人間世界を知って知らずか、イギリスの自然も多くのことを語っていました。イギリス南部と東南部にダウンズと呼ばれるゆつたりと広がる丘陵地帯があります。イギリスで最も豊かな穀倉地帯です。

カンタベリーはその東のす野にある城都都市です。ケント大学からの眺望は有名で、中世以降、殉教者ベケットの祭壇に詣でる旅人たちがこのヒルグリムズヒル（巡礼者の丘）から大聖堂を安堵の思いで眺めたことは想像に難くありません。

クイーンズランド大学の1年間

私はオーストラリアのクイーンズランド大学でこの三月まで一年間の研究生生活を送りました。この大学はオーストラリア大陸東海岸のほぼ中央に位置する、人口第三位のブリスベーン市にあり、八学部学生数約三万人、教職員数約四千五百人からなるオーストラリア屈



焼く白い煙をテレビが映し出すとき、誰もがやりきれない思いを押しさえることができず、前年の洪水の復旧作業も遅れていました。国中にその爪痕を残した大雨は、四年前に訪れたルイズというブライトンに隣接する美しい街を破壊していました。カンタベリーも城壁の中と外を分かれて流れるスタウア川が氾濫し、ボートの救助隊も出動したと聞きます。人々の口から「アンユー ジュアル」（普通でない）という言葉を何度も耳にしました。
（法学部 中元 初美）

指の総合大学です。私の所属していた社会行動学部の中のシヨネルセンターでは、大学院生を含めた和気あいあいのモニングティーが頻繁にありました。私にとつては、いろいろなたつぷと交流できる楽しみのひとつでした。ところが、昼食時に誘い合わせて食事に出るといった光景はまず見かけたことがありません。

大学内にあるいくつもの食堂やシヨップは席数が少なく、学生はベンチや縁石などに腰掛けて、サンドイッチ風の食べ物やヌードルを食べていました。大学のバス停でもバス内でも、友達と談笑している学生は少ないと感じました。一方、一見してそれとわかる留学生ではグループ化した行動が目につきました。

スタッフに尋ねると、地方から来ている学生が多いので友人関係ができ難いということでした。いろいろなお機会に知り合った人々や所かまわずに携帯電話を使用している様子を思うと、とくに孤独を好んでいるのではなく、必要以上の干渉はしないという個人主義なのでしょうか。
（経営学部 宮沢 秀次）

特色を評価され、大学基準協会の正会員に

名古屋経済大学は、平成十四年四月一日、財団法人大学基準協会の正会員として加盟・登録を済ました。大学基準協会とは、日本の諸大学がそれぞれに適切な理念・目標を持ち、それに見合う設備が存し、優れた教育・研究などがなされているかを一定の厳しい基準によって審査・判定し、基準に合格した大学は正会員になれるというものです。一般企業の格付け機関に相当するものだといえます。本学が正会員になったということは、本学が優れた大学として認められたこととなります。

大南正瑛大学基準協会会長から本学の末岡熙章学長に届いた「名古屋経済大学に関する加盟判定審査」の「概評」によると、本学は「創立者である市邨芳樹氏の建学精神」に人物、二に伎倆」を大学の理念としており、それを具体化するために専門の学芸を教授する専門科目群と、幅広く深い教養と総合的判断力の涵養を図るための共通科目群・総合科目群を重視し、なおかつこれらの両科目群の有機的結合をめざすとともに少人数教育を重視している」と評価され、大学組織や付置研究所なども「本学独自の特徴として大いに評価できる」としています。

一方で、「学生の基礎学力の充実・強化に力を注ぎ、履修方法を一層改善するとともに改革を行う」ことや「社会に開かれ地域に根ざした活発な教育研究活動が展開される特色ある大学へと一層発展する」ことなどの改善の必要も助言されています。

後援会総会山下慶一郎会長留任、引き続き「教育懇談会」

名古屋経済大学・同大学短期大学部後援会（山下慶一郎会長）の平成十四年度総会は六月一日、従来のホテルから本学キャンパスに会場を変えて開かれました。約二百六十人が出席し、後援会と学生課外活動振興会の前年度決算、新年度予算を承認、会長に山下慶一郎氏、副会長に野中一寿、柴田弘両氏の留任が決まりました。このあと、保護者の皆さんとコミュニケーションを深める「教育懇談会」に移り、今回からは短期大学部も同調ゼミの担当教員が一人十分（十五分ずつ）面接し、学生の成績、クラブ活動、就職指導などについて話し合いました。

遠方の保護者の利便のため、六月十九日に沖縄地区懇談会を、十月以降に静岡、岐阜、三重、長野、石川、の各地区で開く予定です。

情報センターの活動順調 獨協大学からも見学に

名古屋経済大学の「情報センター」が生まれて一年。その活動は軌道に乗り、他大学からの問い合わせが相次いでいます。四月十八日には獨協大学（埼玉県草加市）の担当職員らが施設見学に訪れました。

九千人の学生がいる獨協大学でも総合情報システム化の準備を進めているそうで、着々と実績を高めている本学の状況を知りたいという事です。訪問した五人はセンターを中心に回り、情報処理教室（2A3教室）をのぞいて「広いスペースですね」と感心していました。

「名経大通信」創刊号（昨年七月発行）で紹介したように、本学の情報センターは情報社会の「住民づくり」「街づくり」「関係づくり」「ルールづくり」の四つの役割を持っています。情報処理室（センター二階）にはパソコン百十台を中心とした情報機器が備えられ、一日の利用学生数は、多い日には五百六十人を超えています。

新短期大学部副学長・大学院会計学研究科長・経営学部長紹介



経営学部長
丸山 祐一

千葉県出身。1979年、中央大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学。商学修士。名古屋経済大学経済学部教授を経て現職。



大学院会計学研究科長
山本 繁

東京都出身。1957年、日本大学大学院経済学研究科修士課程修了。88年、商学博士。日本大学商学部教授を経て現職。



短期大学部副学長
野田 昇司

岐阜県出身。1964年、名古屋大学文学部卒業。同年、日本放送協会（NHK）入局。NHK文化センター岐阜支社支社長を経て現職。

人事異動

- （退職）
大学 教授 井上祐司 北山茂 川井克俊 平田春一
短期大学部 副学長 教授 水野朋子
事務局長 加藤陽一
幼稚園 教諭 水野朋子
事務局 部長 仁木義昭 警備員 伊藤慎夫
（以上平成十四年三月三十日付）
（就任）
短期大学部副学長 野田昇司（六月日付）
大学院会計学研究科長 山本繁
大学経営学部長 丸山祐一
短期大学部現代コミュニケーション学科長 武田康雄
（再任）
大学副学長（大学院担当） 酒巻俊雄
大学副学長（大学院担当） 室井力
大学院
（新任）
会計学研究科 教授 山本繁 大江晋也 佐藤敏昭
齋藤奏 塩原由
（身分変更）（就任）
法学研究科 客員教授 川井克俊 平田春一
大学
（昇格）法学部 助教授 谷川毅
（新任）経営学部 教授 光岡朗
講師 佐伯陽介 中村壽男
（転入）短期大学部より経営学部へ

2003年度入試日程

名古屋経済大学					
区分		出願期間(最終日消印有効)	試験日	発表日	
自己推薦 (AO試験)	前期	第一次審査	平成14年9月11日(水)~9月20日(金)	9月28日(土)	10月3日(木)
		第二次審査	~10月9日(水)	—	10月16日(水)
	後期	第一次審査	11月25日(月)~12月2日(月)	12月7日(土)	12月12日(木)
		第二次審査	~12月18日(水)	—	12月21日(土)
推薦試験	一般・資格	10月28日(月)~11月2日(土)	11月9日(土)	11月11日(月)	
	スポーツ	第一次審査 8月12日(月)~8月22日(木) 第二次審査 10月28日(月)~11月2日(土)	8月30日(金)	8月31日(土) 11月11日(月)	
学力試験	期	平成15年1月15日(水)~1月28日(火)	試験日自由選択 2月2日(日) 2月6日(木) 2月7日(金) 2月8日(土)	2月5日(水) 2月11日(祝)	
	期	2月17日(月)~2月25日(火)	3月1日(土)	3月4日(火)	
センター 利用試験	前期	1月15日(水)~1月31日(金)	本学独自の個別試験は 実施しません。	2月11日(祝)	
	後期	2月24日(月)~3月8日(土)		3月15日(土)	

全学部全学科共通です。設置学部:経済学部/現代経済学科、経営学部/経営学科、法学部/企業法学科・国際関係法学科 期試験は、学外試験場でも実施します。栄:2/2、2/6、2/7、2/8 浜松:2/7、2/8 津:2/7、2/8 金沢:2/7、2/8

名古屋経済大学短期大学部				
区分		出願期間(最終日消印有効)	試験日	発表日
自己推薦 (AO試験)		平成14年9月17日(火)~9月26日(木)	第一次 — 第二次 10月12日(土)	第一次 10月3日(木) 第二次 10月17日(木)
	一般推薦	10月21日(月)~10月28日(月)	11月2日(土)	11月4日(振)
一般試験	前期	平成15年1月14日(火)~1月24日(金)	試験日自由選択 2月1日(土)2月2日(日)	2月4日(火)
	後期	2月17日(月)~2月25日(火)	3月1日(土)	3月4日(火)

本年より市邨学園短期大学から名古屋経済大学短期大学部に名称変更し、男女共学になりました。設置学科:現代コミュニケーション学科、商経科、生活文化学科(生活文化専攻/食物栄養専攻)、保育科

名古屋経済大学 大学院				
区分		出願期間(最終日消印有効)	試験日	発表日
法学研究科	期	平成14年8月28日(水)~9月5日(木)	9月21日(土)	9月25日(水)
会計学研究科			9月22日(日)	

オープンキャンパス

7月28日(日)・8月18日(日)

法学部: 権利ってなんだ?!

経済学部: お金ってなんだ?

経営学部: 会社とはなにか・経営とはなにか

全学部共通: スポーツと心

開催時間は両日とも
10:00~14:00です。
参加希望の方はE-mail、
電話などで事前に
お申し込みください。

〒484-8504 愛知県犬山市内久保61-1 TEL(0568)68-0490入学広報部(直) E-mail nyugakukoho@kan.nagoya-ku.ac.jp

- 短期大学部 助教授 荒鹿善之、高松和宣
- (新任)現代コミュニケーション学科 講師 家接哲次
- 生活文化学科 講師 鈴木康夫
- 幼稚園 幼稚園
- (新任)教諭 森川加菜
- 事務局
- (新任)学生部 部長 丸山哲夫
- 大学教務部 書記 懸田潤
- 入学広報部 嘱託 永田昌彦
- 学生部 嘱託寮母 洲上陵子
- (身分変更)情報センター 書記 高橋邦明
- (転入)本部より総務部へ 嘱託 林吉吾
- 栄校より教務部分室へ 嘱託 磯村要
- (転出)本部財務部へ 加藤忠
- 市邨校事務局へ 澤谷順子
- (所属変更)短期大学部教務部へ 木曾晴市
- 学生部へ 古池美鈴
- 入学広報部へ 正者佳子
- (以上平成十四年四月日付)
- 大学インターンシップ推進委員会 委員長 小木紀之教授
- 副委員長 山口進彦教授
- 委員 伊藤幸男教授、萩田誠教授、庄司節子教授
- 木全敬止助教授、萩原俊彦助教授、原田裕治講師
- (以上平成十四年三月十一日付)
- 大学地区懇談会運営委員 委員長 伊藤幸男教授
- 委員 三浦東教授、宮川昇教授、安孝錫助教授
- 谷川毅助教授、辻田芳幸助教授、吉澤洋一助教授
- 大学、同短期大学部資格取得支援講座運営委員会委員 委員長 伊藤幸男教授
- 委員 相川修教授、西村智子教授、植田克己助教授
- 澤野和博助教授、角谷新一助教授、千田白百合助教授
- 高橋典子助教授、高松和宣助教授、吉川伸助教授
- 原田裕治講師
- 短期大学部教育懇談会運営委員 商経科 水野晃教授
- 生活文化科 千田白百合助教授
- 保育科 安藤悦夫教授
- 現代コミュニケーション学科 安藤潔教授
- 平成十四年度 セクシアルハラスメント防止対策委員 大学 水田珠枝教授、秋田量正教授、安孝錫助教授
- 短期大学部 吉田啓子教授、船井廣則教授
- 事務局 三輪至部長、大下節子主事
- 平成十四年度 セクシアルハラスメント苦情相談窓口 経済学部 岸野三恵子教授、岸野澄子助教授
- 経営学部 李彩華講師
- 法学部 相川修教授、川津雅江助教授
- 短期大学部 商経科 水野晃教授
- 生活文化科 光松佐和子助教授
- 保育科 寺田泰人助教授
- 現代コミュニケーション学科 高橋典子助教授
- 大学、同短期大学部広報編集委員会委員 保育科 石川昭義助教授
- 短期大学部情報センター員 現代コミュニケーション科 日比野光敏助教授
- 経済学部 原田裕治講師
- (以上平成十四年四月日付)

和気あいあいの法律研究サークル「界法会」

「ぼくたち界法会は名経大唯一の法律を勉強するサークルなので、自分の将来を法律知識によって切り開きたい受験生は、入学したら、わが会が全面的にサポートするので、ぜひ入会して仲間に加わってほしい」と、物静かな好青年、部長の久保田智之君（法二年）は力説しています。

界法会は現在、一年生六人、二年生三人、四年生二人という構成になっています。顧問は福永清貴先生ですが、今年度はドイツ留学中なので、今年度は相川修先生が顧問をつとめています。

界法会の特色は、Bの先輩と現役学生との密接なつながりにあるようです。本学を卒業して名古屋経済大学大学院に進学した二人と南山大学大学院に進学した一人の大学院生が、毎回出席して、会員の勉強を助けてくれるそうです。

会の活動は毎週水曜日の午後三時以後の例会が中心。図書館五階のグループ閲覧室を利用して、法学検定や行政書士などの資格取得に向けた勉強会をしています（写真）。試験の問題集

を解く他に、先輩からの詳しい説明などがあります。

毎年、大学祭には模擬法廷を行うのですが、昨年は部員不足のために準備できませんでした。今年度は一年生がたくさん入部したので、実力を蓄えてから臨みたいと、来年の大学祭での再開を計画中です。

法律の勉強会という堅苦しいイメージがありますが、会員たちは和気あいあい。例会終了後にはいつしよに夕食を食べに行くことが多いそうです。また、休みにはみんなで出かけたり、コンパをすることも多いそうです。

久保田君は、界法会に入ってから、法律が身近なものになったといます。また、一人で名古屋地方裁判所に裁判を傍聴に行ったが、テレビドラマなどとは違って冷静に裁判が進められるのを知り、今度には会員みんなと行きたいと語ってくれました。

名経大で法律を学びたい人は、ぜひ彼らの活動をのぞいてみてください。



短期大学部で民族色ゆたかな学外セミナー

短期大学部の現代コミュニケーション学と生活文化学では、五月十五日（現代コミュニケーション学）と十六日（生活文化学）の両日、学外セミナーを開催しました。会場となったのは犬山市今井の野外民族博物館リトルワールド。約一時間、同館研究員の亀井哲也氏からビーズ装飾などに関する講義を聞いた後、館内展示や屋外の建築物展示を自由見学。世界各地の民族衣装の試着やエスニック料理の食べ歩きを楽しみながら、半日の日程を過ごしました。

この学外セミナーは、世界のさまざまな生活様式の実例をできるだけ具体的に学生に体感させ、生活文化の専門学科に入学したことを自覚させるほか、学生と教員との交流や学生相互間の親睦を計ることなどを目的に、十年以上前に、生活文化学科で開始されました。今や同学科の「年中行事」となっていますが、今年度は、

新設の現代コミュニケーション学でも基礎演習の一環として実施されました。

両学科とも学生・教員の全員参加で、中には「リトルワールドには小学生の遠足以来、何度も来ている」という声もありましたが、「大学生の目で見ると、同じ展示物でも見方が変わるんですね。今まで来た中で、今回が一番面白かった」と驚きまじりで話す学生もいました。また、「ふだん教室で見るとは違った先生の一面が見ることができて、親しみが持てるようになった」との声もあり、貴重な機会になったとよつです。



スキー部の戦績

第十回西日本学生木島平カップ（三月十二日、十五日、長野県木島平スキー場）に名古屋経済大学スキー部から男子三人、女子二人が参加し、男子本戦GS2部戦で杉野泰直君（経済学部四年）が三位に入賞しました。

共学になった短期大学部、男子学生の感想を

名古屋経済大学短期大学部は、この四月から男女共学になりました。今年度は、合計十六名の男子が入学しました。そこで、彼らに短期大学部の雰囲気や授業について感想を聞いてみました。

商経科・服部由紀人さん
なぜこの短期大学部を選んだのですか？

二年間でコンピューターや経済を学んで、少しでも早く働きたかったんです。もっとも、将来の具体的な進路はまだ決めていませんけれど。この学校が、去年まで女子ばかりの短大だということは？

受験の時、ちゃんと調べたので知っていましたが、実際は思ったより男子は少なかったです。高校の時は、クラスに女子が二人しかいなかったのが、全然違う環境です。最初は確かに面喰らうこともありましたが、



今は全然気にしていません。

これからの短大生活の夢は？

とりあえず、今、満足した生活です。これからは、資格などをたくさん取りたいと思っています。

生活文化学科・長谷川雅基さん
食物栄養専攻ということとは、将来は栄養士になりたいと？

そうですね。資格を持ってれば就職の幅も広がると思いますし、料理することもにも興味があります。



生活文化学科では、長谷川さんがただ一人の男子学生ですね。

そうですね。他の大学に行った連中からはうらやましがられるのですが、実際、その中に入ってみると、けっこうつらい時もあります。

もともと女性に対しては積極的な方ではないので、こちらから話しかけるのは苦手です。普通にちょっと話しかける相手がいないのが寂しいですね。でも、周囲も気をつかってくれて、たまに女子の方から話しかけられるとうれしいです。

保育科・松浦貴之さん

松浦さんは本学の経済学部を卒業して一年間就職してから、改めて保育科に入学ですね。

自分としては大きな決断だったと思います。ただ僕の友達に進路を変更して専門学校に通っている人がいて、勇気をもらった気もします。

学校の先生になりたかったという気持ちがいまも残っています。

保育科の雰囲気はどうですか。

和気あいあいというか、男子も女子もやさしそうな学生が多いですね。男子は仲がよくて、この前も、ご飯をみんなで作って、一人暮らしの学生を励ました。保育科の授業の様子は？

忙しいですが、何か充実感があります。大学の時と比べて、授業をまじめに聞いている自分がいるって思っています。学費を自分で出していきますから、保育者をめざす現実をシビアに見ているのだと思います。



音符も読めなかった自分が、今毎日練習していて、自分が本当に変わってきていると思えます。

現代コミュニケーション学科・加藤央高さん

「市部」という学校のことは前から知っていましたが？

母が市部高校の卒業生なんです。母のところへ送られてきた同窓会の案内で、短大が共学になることを知りました。

なぜ、現代コミュニケーション学科を選んだのですか？

もともと英語を勉強したいという気持ちがありました。それと、人前で話すのが苦手なので、他人とちゃんと話せる人になるにはコミュニケーションを勉強した方がいいんじゃないかなあと……。四年制大学の道も考えましたが、二年間でいろんな知識を身につけたかったし、キャンパス見学に来てみて、この短大が気に入りました。



新刊

本学教授らによる新刊図書を、著者に紹介してもらいます

高木史人ほか共編 『日本説話小辞典』

(大修館書店刊)

説話とは、主に口から耳へと、また手から目へと伝えられてきたストーリーの総称です。本書は、日本の古代から近現代に至る説話の書物やストーリーの種類について紹介してあります。編者は四人ですが、私は主に近代を担当し、また巻末に「いま、説話を考える」という概説を書きました。近代では、思い切つて、従来、説話ではないとされていた小説をも説話として扱う試みをしました。それをおもしろいといつて評価してもらえるか、けれどもからんといつて否定されるか、興味津々です。三四〇ページで、定価は一八〇〇円+税です。読む事典を目指しています。



催事報告

法学入門の特別講義

やがて役立つ 企業人と司法書士が語る。

社会の第一線に立ち、法律の現場に携わっている方々から「法律実務」の話をしてもらおうと、名古屋経済大学の法学会が主催して五月十日、本学講堂で講演会を開きました。法学部の一年生を中心にした聴講生で会場はほぼ満席になりました。

ただ漫然と法律を学ぶのではなく学習と知識が卒業後にどう生かされるかの、イメージをつかんでもらいたいというのがねらいです。講師にはトヨタ関連の株式会社デソニー法務部長滝川宣信さんと名古屋の司法書士成田康枝さんをお招きしました。

滝川法務部長は企業の法務スタッフの役割と課題について「不法行為やトラブルが起きた際の対応、それを起こさせない対策、さらに法律や規制を駆使した企業戦略」の三点を挙げ、時代が求めていることをもとに、「大学で財産法、会社法、独占禁止法を習得するのが絶対必要です。明るさ、社交性、自分の意見を述べる力を養ってください」と語りました。

成田さんは大学生の時に、せっかく法学部に入ったのだから資格をとろうと司法書士になったそうです。不動産登記、会社の設立登記、裁判所への提出書類作成などの日常の仕事の説明し、「民法や商法は大事ですが、その前に憲法を勉強すること。法とは何かというリーガルマインドを学ぶこと。社会人となる準備のため大学時代に多くの人と交わることが大切になります」と強調しました。

ラッピングバス栄～大坪間に登場



名古屋経済大学消費者問題研究所主催

第22回公開講演会 開催される

平成十四年六月十九日、名古屋ガーデンパレス名古屋市中区)において公開講演会進行役・小木紀之本学経済学部教授)が開かれました。テーマは「消費者問題と企業倫理」。講演会では、企業は企業倫理を確立し、自主行動基準の作成・公開をすべきであると提唱する鍋嶋詢三氏(消費者関連専門家会議顧問)の基調講演に続いて、油田淑子氏(全国消費生活相談員協会中部支部長)が企業の不祥事防止への具体的な対策や自主行動基準のあり方について、また白井康彦氏(中日新聞編集局せいかつ21担当記者)が企業倫理に関する具体的な問題点や企業倫理の実践の困難性について発言しました。

おことわり

市邨学園短期大学から名古屋経済大学短期大学部への名称変更に伴い、短大の「大学だより」は平成十三年九月一日発行の第54号を限り最終号とし、これからは「名経大通信」に併合されることになりました。皆さんからの寄稿、ご意見を歓迎します。

「名経大通信」編集委員会(委員長 末岡脩 事務局長)の各学部担当者は次の通りです。

岡本秀昭(経営学部) 高木史人(経営学部)
辻田秀幸(法学部) 四本健二(法学部)
石川昭義(短期大学部) 日比野光敏(短期大学部)